

過去の附議課題一覧

会議開催	No.	課題名	研究開発代表者（敬称略）
第24回 (令和8年7月29日)	69	橋渡し・臨床加速化プロジェクト 橋渡し研究プログラム preF 「同種CD19-キメラ抗原受容体(CAR)導入iPS-NKT細胞療法開発における非臨床開発に向けた研究」	古関 明彦 (理化学研究所生命医科学研究センター チームディレクター)
	68	橋渡し・臨床加速化プロジェクト 橋渡し研究プログラム preF 「難治性多発性骨髄腫に対するペプチド薬物複合体の開発」	菊池 次郎 (自治医科大学分子病態治療研究センター 准教授)
	67	シーズ開発・基礎研究プロジェクト 脳神経科学統合プログラム 「パーキンソン病の疾患修飾療法開発に向けたドーパミンシナプス修復のメカニズム解明」	柚崎 通介 (慶應義塾大学ヒト生物学-微生物叢-量子計算研究センター 特任教授)
	66	シーズ開発・基礎研究プロジェクト 革新的先端研究開発支援事業 ステップタイプ (FORCE) 「B細胞遊走制御因子を切り口とした免疫疾患の病態解明」	鈴木 一博 (大阪大学大学院医学系研究科 教授)
第23回 (令和8年5月27日)	65	医薬品プロジェクト 次世代がん医療加速化研究事業 「新規ヒト樹状細胞発現免疫チェックポイント分子を標的とした免疫チェックポイント阻害剤に関する研究開発」	佐藤 克明 (宮崎大学医学部医学科 教授)
	64	データ利活用・ライフコースプロジェクト 免疫アレルギー疾患実用化研究事業 「重症喘息における気道過敏性とリモデリングを標的とした治療薬の基盤開発の検討」	三木 春香 (筑波大学医学医療系 准教授)
	63	シーズ開発・基礎研究プロジェクト ムーンショット型研究開発事業 目標7 グリア病態からセノインフラメーションへ発展する概念に基づく認知症発症機序の早期検出と制御 (PI：樋口真人・大阪公立大学・大学院医学研究科・教授) 「タンパク質凝集体分解促進剤(ADI)による神経変性疾患治療薬の開発」	松本 弦 (大阪公立大学大学院医学研究科 准教授)
	62	シーズ開発・基礎研究プロジェクト 革新的先端研究開発支援事業 ソロタイプ (PRIME) 「ストレスへの応答と疾病発症に至るメカニズムの解明」研究開発領域 「妊娠・発達期複合炎症ストレスに起因する精神疾患症状・学習障害の疾患関連免疫細胞を標的とした治療法の研究開発」	大槻 元 (京都大学大学院医学研究科 特定教授(ムーンショットプロジェクト))
第22回 (令和8年1月29日)	61	再生・細胞医療・遺伝子治療プロジェクト 再生・細胞医療・遺伝子治療実現加速化プログラム 疾患特異的iPS細胞を用いた病態解明・創薬研究課題 「運動ニューロン疾患におけるシナプスを介した神経変性機構の解明」	岡田 洋平 (愛知医科大学加齢医科学研究所 教授)
	60	再生・細胞医療・遺伝子治療プロジェクト 革新的がん医療実用化研究事業 「孤発性パーキンソン病iPS細胞ライブラリーを活用した治療薬探索」	赤松 和土 (順天堂大学大学院医学研究科ゲノム・再生医療学 教授)
	59	橋渡し・臨床加速化プロジェクト 橋渡し研究プログラム (橋渡し研究支援プログラム) 「Anti-miRNA新規非環状型人工核酸による多発性嚢胞腎治療薬開発」	加藤 規利 (名古屋大学医学部附属病院 講師)
第21回 (令和8年1月28日)	58	医薬品プロジェクト 次世代がん医療加速化研究事業 「がん細胞の転写調節依存性を標的とする創薬開発」	星居 孝之 (千葉大学大学院医学研究院分子腫瘍学 准教授)
	57	再生・細胞医療・遺伝子治療プロジェクト 再生・細胞医療・遺伝子治療実現加速化プログラム 「エリスロポエチン誘導性選択的制御遺伝子 (SRG) 搭載 CAR-T 療法の非臨床開発」	大嶺 謙 (自治医科大学医学部 内科学講座 血液学部門 准教授)
	56	データ利活用・ライフコースプロジェクト 腎疾患実用化研究事業 「不良細胞外小胞を標的とした慢性腎臓病と腎性老化現象の病態解明」	萬代 新太郎 (東京科学大学大学院医歯学総合研究科歯学系専攻 腎臓内科学分野 テニユアトラック准教授)
	55	データ利活用・ライフコースプロジェクト 革新的がん医療実用化研究事業 「急性骨髄性白血病のエピゲノムサブタイプと特異的転写異常を標的とする治療開発」	越智 陽太郎 (京都大学大学院医学研究科 腫瘍生物学講座 助教)
	54	データ利活用・ライフコースプロジェクト 免疫アレルギー疾患実用化研究事業 「アトピー性皮膚炎に対する新規分子標的薬開発に係る非臨床試験」	宮井 智浩 (理化学研究所 生命医科学研究センター 免疫器官形成研究チーム 研究員)
第20回 (令和7年11月26日)	53	医薬品プロジェクト 難治性疾患実用化研究事業 「FROUNTを標的とした特発性間質性肺炎治療薬の治験準備」	寺島 裕也 (東京理科大学生命医科学研究所 准教授)
	52	医薬品プロジェクト 次世代がん医療加速化研究事業 「ネオ抗原検出技術NESSIEを基盤とした個別化がんワクチン開発」	金関 貴幸 (新潟大学医学部医学科分子病理学分野 教授)
	51	医薬品プロジェクト スマートバイオ創薬等研究支援事業 「デュオカルマイシンを用いた抗体ミメティクス結合薬」	金井 求 (東京大学大学院薬学系研究科 教授)
	50	ライフコース研究開発プロジェクト 免疫アレルギー疾患実用化研究事業 「新規自己炎症性疾患VEXAS症候群のdeep phenotypingを通じた病態解明研究」	桐野 洋平 (横浜市立大学大学院医学研究科 幹細胞免疫制御内科学 准教授)
	49	シーズ開発・基礎研究プロジェクト ムーンショット型研究開発事業 炎症誘発細胞除去による 100歳を目指した健康寿命延伸医療の実現 (PI：中西真・東京大学医科学研究所・教授) 「炎症誘発細胞の除去機構と免疫老化の相互制御の解析」	吉村 昭彦 (東京理科大学生命医科学研究所 教授)

第19回 (令和7年9月24日)	48	再生・細胞医療・遺伝子治療プロジェクト 再生・細胞医療・遺伝子治療実現加速化プログラム 再生・細胞医療・遺伝子治療研究開発課題（非臨床PoC取得研究課題） 「多発性硬化症治療を目指したmiRNA分泌型遺伝子細胞治療薬の開発」	朝長 啓造 (京都大学医生物学研究所 教授)
	47	データ利活用・ライフコースプロジェクト ゲノム研究を創薬等出口に繋げる研究開発プログラム 「心不全シングルセルゲノミクス創薬」	小室 一成 (東京大学医学部附属病院 先端循環器医科学講座 特任教授)
	46	感染症プロジェクト 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業 「エンテロウイルス及びパレコウイルス由来3Cプロテアーゼを標的とした革新的創薬開発」	阿部 隆之 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 地域疾病制御医学専攻 国際感染医学教授)
	45	医薬品プロジェクト 創薬基盤推進研究事業 「画期的なアンチセンス核酸創薬のための新技術に関する研究」	星野 秀和 (医薬基盤・健康・栄養研究所 創薬デザイン研究センター 人工核酸スクリーニングプロジェクト サブプロジェクトリーダー)
	44	シーズ開発・基礎研究プロジェクト 医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム（SATREPS） 「感染症創薬の実現に向けた薬剤の至適化と前臨床試験の確立」	野崎 智義 (東京大学大学院医学系研究科 国際保健学専攻 生物医化学分野 教授)
第18回 (令和7年7月30日)	43	データ利活用・ライフコースプロジェクト 革新的がん医療実用化研究事業 「オキシトシン受容体の下流シグナルを標的とした悪性中皮腫に対する新規治療の開発」	堀 和美 (名古屋大学医学部附属病院 病院助教)
	42	データ利活用・ライフコースプロジェクト ゲノム研究を創薬等出口に繋げる研究開発プログラム 「ブレインアトラス創生による精神神経疾患のシングルセル・ゲノム創薬」	岡田 随象 (東京大学大学院医学系研究科 教授)
	41	データ利活用・ライフコースプロジェクト ゲノム研究を創薬等出口に繋げる研究開発プログラム 「AIを利用した新規抗がん薬の創薬研究加速システムの開発」	濱田 哲暢 (国立がん研究センター 研究所分子薬理研究分野 分野長)
第17回 (令和7年5月28日)	40	医薬品プロジェクト 次世代治療診断実現のための創薬基盤技術開発 「腸内マイクロバイオーム制御による次世代創薬技術の開発／課題 1：リバーストランスレーショナル創薬に向けた包括的マイクロバイオーム制御基盤技術開発ーマイクロバイオーム創薬エコシステム構築に向けてー」	西川 博嘉 (名古屋大学大学院医学系研究科 教授)
	39	医薬品プロジェクト スマートバイオ創薬等研究支援事業 「全身投与型マイクロRNA抗腫瘍核酸医薬MIRX006の研究開発」	高橋 陵宇 (広島大学大学院医系科学研究科 准教授)
第16回 (令和7年1月29日)	38	再生・細胞医療・遺伝子治療プロジェクト 再生・細胞医療・遺伝子治療実現加速化プログラム（疾患特異的iPS細胞を用いた病態解明・創薬研究課題） 「核酸医薬を用いた、心筋症の予後を改善する新規抗不整脈治療法の開発」	稲住 英明 (東京大学医学部附属病院 先端循環器医科学講座 特任研究員)
	37	シーズ開発・研究基盤プロジェクト 医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業 戦略的国際共同研究プログラム（SICORP）e-ASIA共同研究プログラム 「肝がんに対するMYCN/NCYM標的治療薬の開発」	末永 雄介 / 筆宝 義隆 (千葉県がんセンター 進化腫瘍学研究室 室長/研究所 所長)
第15回 (令和6年10月30日)	36	再生・細胞医療・遺伝子治療プロジェクト 再生・細胞医療・遺伝子治療実現加速化プログラム（疾患特異的iPS細胞を用いた病態解明・創薬研究課題 「新・標的分子と新・神経機能解析法を用いた糖脂質代謝異常症の薬剤開発」	江良 択実 (熊本大学発生病学研究所 幹細胞誘導分野 教授)
	35	医薬品プロジェクト 次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業 「国際競争力のある次世代抗体医薬品製造技術開発／革新的な次世代抗体医薬品製造基盤技術の開発（分子中に秘められた新規相互作用部位の探索と改変を通じた次世代抗体創成の基盤構築）」	谷中 冴子 (自然科学研究機構 生命創成探究センター 創成研究領域 准教授)
第14回 (令和6年7月31日)	34	医薬品プロジェクト 次世代がん医療加速化研究事業 「癌抑制ドライバー経路を標的とする抗癌剤開発」	鈴木 聡 (神戸大学大学院医学研究科 分子細胞生物学分野 教授)
	33	医薬品プロジェクト 次世代がん医療加速化研究事業 「PAR 1bを標的とした人為的 BRCAness（ブラッカネス）誘導によるがん種横断的な合成致死療法開発の研究」	畠山 昌則 (微生物化学研究会 微生物化学研究所 第3生物活性研究部 部長)
	32	医薬品プロジェクト 次世代がん医療加速化研究事業 「大腸がん幹細胞の未分化性維持に関与するキナーゼの阻害による分化誘導戦略の構築」	青木 正博 (愛知県がんセンター 研究所 がん病態生理学分野 副所長兼分野長)
第13回 (令和6年5月29日)	31	医薬品プロジェクト 次世代がん医療加速化研究事業 「膵がん幹細胞表面に特異的に発現する分子に関する研究開発」	中山 敬一 (東京医科歯科大学 高等研究院 特別荣誉教授)
	30	疾患基礎研究プロジェクト 革新的がん医療実用化研究事業 「肺癌オルガノイドライブラリーを用いた肺癌フェノタイプ多様性を規定する分子基盤解明と新規治療標的の同定」	安田 浩之 (慶應義塾大学医学部 呼吸器内科 准教授)
	29	医薬品プロジェクト 次世代がん医療加速化研究事業 「染色体外環状DNAを標的とした次世代がん治療法の開発」	鈴木 洋 (名古屋大学大学院医学系研究科 附属神経疾患・腫瘍分子医学研究センター 分子腫瘍学 教授)
第12回 (令和6年1月31日)	28	疾患基礎研究プロジェクト 腎疾患実用化研究事業 「ポドサイトDNA損傷に起因する病源性メモリーT細胞を標的にした治療法開発」	林 香 (慶應義塾大学医学部 教授)
	27	医薬品プロジェクト 次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業 「サメVNAR作製プラットフォームを基盤とした次世代抗体医薬品の開発技術高度化」	竹田 浩之 (愛媛大学プロテオサイエンスセンター 准教授)
第11回 (令和5年10月25日)	26	医薬品プロジェクト 次世代がん医療加速化研究事業 「催奇性を回避した血液がん治療に有効な新規サリドマイド誘導体の開発」	山中 聡士 (愛媛大学プロテオサイエンスセンター 無細胞生命科学部門 特定研究員)
	25	医薬品プロジェクト 次世代がん医療加速化研究事業 「グアニン四重鎖による翻訳制御を標的としたがん治療薬の開発」	清宮 啓之 (公益財団法人がん研究会 がん化学療法センター分子生物治療研究部 部長)

第10回 (令和5年7月26日)	24	疾患基礎研究プロジェクト 脳とこころの研究推進プログラム（革新的技術による脳機能ネットワーク全容解明プロジェクト） 「パーキンソン病発症前から発症後に連続する神経回路病態の解明とトランスレータブル指標の開発」	上田 潤 / 高橋 良輔 (京都大学大学院医学研究科 臨床神経学 助教/教授)
	23	医薬品プロジェクト 次世代がん医療加速化研究事業 「TFE3関連腫瘍の微小環境を標的とした革新的治療法の開発」	田中 美和 (公益財団法人がん研究会 がん研究所 がんエピゲノムプロジェクト 主任研究員)
	22	医薬品プロジェクト 次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業 「RNA標的創薬技術開発／新規RNA標的医薬品の研究開発（疾患の原因となる変異遺伝子のみを正常遺伝子と区別して抑制するSNPD-siRNA核酸医薬品実用化のための非臨床試験基盤の確立）」	程 久美子 (東京大学大学院理学系研究科 准教授)
第9回 (令和5年5月31日)	21	(標的検証型) 医薬品プロジェクト 次世代がん医療加速化研究事業 「上皮細胞の形質膜タンパク質リガンドによるがん変異細胞・がん細胞排除」	丸山 剛 (東京大学薬学部・大学院薬学系研究科 特任研究員)
	20	(フォローアップ会議) 医薬品プロジェクト 創薬基盤推進研究事業 「Staple核酸を利用した新規核酸医薬機序開拓」	勝田 陽介 (熊本大学大学院先端科学研究部 准教授)
第8回 (令和5年1月25日)	19	疾患基礎研究プロジェクト 革新的がん医療実用化研究事業 「副作用の論理的低減による新規脾臓がん薬物組み合わせ療法の開発」	園下 将大 (北海道大学遺伝子病制御研究所 がん制御学分野 教授)
	18	疾患基礎研究プロジェクト 脳とこころの研究推進プログラム (領域横断的かつ萌芽的脳研究プロジェクト) 「筋萎縮性側索硬化症における神経変性誘導機序の同定とその制御」	村松 里衣子 (国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 部長)
第7回 (令和4年10月26日)	17	難治性疾患実用化研究事業 「高解像度3次元イメージングによる特発性後天性全身性無汗症の神経病態解析」	飯田 忠恒 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 皮膚科学分野 非常勤講師)
	16	医療分野国際科学技術共同研究開発事業（SATREPS） 「感染症創薬の実現に向けた薬剤の至適化と前臨床試験の確立」	野崎 智義 (東京大学大学院医学系研究科 教授)
	15	先端的バイオ創薬等基盤技術開発事業 「人工エクソソームを用いた革新的免疫制御法の開発」	華山 力成 (金沢大学ナノ生命科学研究所 教授)
第6回 (令和4年7月27日)	14	先端的バイオ創薬等基盤技術開発事業 「核酸医薬への応用を目指した非環状型人工核酸の開発 — 非環状型核酸を活用したトリプレットリピート病治療法開発 —」	佐橋 健太郎 (名古屋大学 医学部附属病院 脳神経内科 講師) /浅沼浩之 (名古屋大学大学院 工学研究科 教授)
	13	次世代がん医療加速化研究事業 「改変型サイトカイン分子設計による抗腫瘍免疫療法の開発」	田中 伸幸 (宮城県立がんセンター研究所 がん先進治療開発研究部 部長)
	12	難治性疾患実用化研究事業 「液-液相分離を正常化する核酸医薬によるFTLD治療法開発」	石垣 診祐 (滋賀医科大学神経難病研究センター 教授)
第5回 (令和4年5月25日)	11	次世代がん医療加速化研究事業 「多量体型チロシナーゼを標的とした革新的がん治療法の開発」	小根山 千歳 (愛知県がんセンター研究所 腫瘍制御学分野 分野長)
	10	先端的バイオ創薬等基盤技術開発事業 「デリバリーと安全性を融合した新世代核酸医薬プラットフォームの構築 — 難治性がんに対するAr14cを標的としたアンチセンス核酸医薬の研究開発 —」	松本 真司 (大阪大学大学院 医学系研究科 分子病態生化学 准教授) 小比賀 聡 (大阪大学大学院薬学研究科 生物有機化学分野 教授)
第4回 (令和4年1月26日)	9	先端的バイオ創薬等基盤技術開発事業 「高性能中分子医薬のスマートデザイン基盤技術開発」	門之園 哲哉 (東京工業大学生理工学院 助教)
	8	次世代がん医療創生研究事業 「増殖ストレス緩和システムを標的とする新規がん治療戦略の確立」	佐々木 敦朗 (慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 (先端生命科学研究所) 特任教授)
第3回 (令和3年10月27日)	7	次世代がん医療創生研究事業 「がんの幹細胞性と線維化機構の制御による多因子標的がん治療法の開発」	中西 祐貴 (京都大学医学研究科 地域医療システム学講座 特定助教)
	6	創薬基盤推進研究事業 「Staple核酸を用いた新規核酸医薬開発」	勝田 陽介 (熊本大学先端科学研究部 助教)
第2回 (令和3年8月18日)	5	医療分野研究成果展開事業 産学連携医療イノベーション創出プログラム（ACT-MS） 「細胞核ダイナミクスを標的とした抗フラビウイルス治療薬の開発」	宮本 洋一 (医薬基盤・健康・栄養研究所 細胞核輸送ダイナミクスプロジェクト サブプロジェクトリーダー)
	4	難治性疾患実用化研究事業 「microRNA病態に基づいたレット症候群の治療薬開発」	辻村 啓太 (名古屋大学大学院理学研究科 附属ニューロサイエンス研究センター 特任講師)
	3	次世代がん医療創生研究事業 「催奇性を回避した血液がん治療に有効な新規サリドマイド誘導体の開発」	山中 聡士 (愛媛大学 プロテオサイエンスセンター 無細胞生命科学部門 特定研究員)
第1回 (令和3年5月28日)	2	医療分野研究成果展開事業 産学連携医療イノベーション創出プログラム（ACT-MS） 「RNAとタンパク質の結合阻害による抗RSウイルス薬の創出」	遠藤 慧 (東京大学大学院新領域創成科学研究科 助教)
	1	次世代がん医療創生研究開発事業 「がん細胞の免疫原性を標的とした微粒子免疫療法の研究開発」	諸石 寿朗 (熊本大学大学院生命科学研究部 教授)

※氏名が2名連名の場合、上段が発表者（研究開発分担者）で、下段が研究開発代表者です。